

平成 17 年度（2005 年度）東北大学公共政策大学院 学 生 募 集 要 項

公共政策大学院は、国家・地方・国際公務員を中心とした「政策プロフェッショナル」を養成する専門職大学院です。公共政策大学院の修了者には、「公共法政策修士（専門職）」の学位が授与されます。

1. 募 集 人 員

30 名

2. 出 願 資 格

- (1) 大学を卒業した者及び平成 17 年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び平成 17 年 3 月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 17 年 3 月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 17 年 3 月までに修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号参照）
- (6) 大学院に「飛び入学」した者であって、当該者がその後に入学者本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (7) その他本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達したもの

備考 1. 出願資格(6)又は(7)により出願しようとする者は、平成 16 年 8 月 6 日（金）までに法學研究科専門職大学院係へ申し出てください。

備考 2. 大学に 3 年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、本大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの（通称「飛び入学」）に関する出願資格は、本年度は適用しません。

3. 選 考 方 法

選考は、第 1 次選考と第 2 次選考とに分けて行います。第 2 次選考は、第 1 次選考の合格者に対して行い、その結果と出願者身上書の記載事項等とを総合して最終合格者を決定します。

- (1) 第 1 次選考（筆記試験）

ア. 必修科目の 2 科目、及び選択科目の中から出願の際に選択した 1 科目、計 3 科目を受験してください。

また、外国人留学生には、語学辞典の持込みを認めます。冊数は制限しません。ただし、専門用語辞典の類は認めません。

必修科目及び選択科目は、以下の通りです。また、各科目では、主に以下の範囲を中心に出題します。

〔必修科目〕 民法(民法総則、契約法、不法行為法)

行政法(行政行為、取消訴訟、国家賠償)

〔選択科目〕 国際法(国連憲章(国際連合憲章)、条約法条約(条約法に関するウィーン条約))

労働法(労働基準法、労働組合法)

租税法(所得税法)

行政学(中央地方関係、中央政府論(内閣制、省庁制)、行政理論(政策評価・管理評価、行政責任論))

国際政治学(現在の国際社会が直面している主要な政治・軍事・経済・社会・文化・環境等の問題)

イ. 試験日時

平成16年9月25日(土)

13時30分～16時30分：民法、行政法、選択科目

試験会場には、13時00分から入室できます。

ウ. 試験会場

仙台：東北大学大学院法学研究科(宮城県仙台市青葉区)、又は

東京：丸ビル(東京都千代田区丸の内2-4-1)

出願者は、出願の際にいずれかの試験会場を選択してください。なお、東京会場については、受験者数等の事情により、東京二十三区内で会場が変更される可能性があります。

エ. 第1次選考合格者発表

平成16年10月15日(金)

片平キャンパス掲示板(北門南側)に掲示する(午前11時の予定)とともに、受験者全員に可否について通知します。

(2) 第2次選考(口述試験)

ア. 午前中に小論文作成を行い、それを資料として面接を行います。

なお、外国人留学生には、小論文作成の際に語学辞典の持込みを認めます。冊数は制限しません。ただし、専門用語辞典の類は認めません。

イ. 試験日時

平成16年10月31日(日)又は11月1日(月)(後日通知します。)

9時00分～10時00分：小論文作成

10時30分～18時00分の間(後日通知する)：面接

注：口述試験について、その日時を変更することがあります。その場合には、あらかじめ該

当者にその旨を通知しますので、注意してください。

ウ. 試験会場

東北大学大学院法学研究科（宮城県仙台市青葉区）

4. 健康診断

出願の際に提出した健康診断書により行います。

なお、健康診断書の審査により、再検査が必要と判断された方には別途通知します。

5. 出願手続

出願書類は一括して所定の出願用封筒に入れ、必ず書留速達で郵送してください。

(1) 受付期間

平成16年9月6日（月）から9月10日（金）まで

9月11日（土）以降に到着した出願書類は、9月8日（水）までの発信局消印のある場合に限り、受け付けます。

(2) 提出書類等

提出書類	摘 要
① 入学願書及び履歴書	本研究科所定用紙
② 受験票及び写真票	本研究科所定用紙
③ 大学（学部）の成績証明書	注1を参照のこと。
④ 健康診断書	本研究科所定用紙。なお、東北大学在学中の学生は、東北大学保健管理センターから発行される通常健康診断書を提出しても差しつかえありません。また、本学在学中で定期健康診断を受けている学生については、本研究科において一括して健康診断の審査を行うので、診断書は不要です。
⑤ 出願者身上書	本研究科所定用紙
⑥ 法科大学院適性試験（大学入試センター）、法科大学院統一適性試験（日弁連法務研究財団）、TOEFL、又はTOEICの成績を証するもの	提出は必須ではありません。左の試験を受験した者のうち、出願者身上書の所定の欄に各試験の成績を記入した者のみ提出してください。コピーを提出しても差しつかえありません。
⑦ 卒業（見込）証明書又は学位授与（申請）証明書	出身大学（学部）長の発行する卒業（見込）証明書又は大学評価・学位授与機構が発行する学士の学位授与証明書若しくは短期大学長又は高等専門学校長の発行する学位授与申請（予定）証明書。注1を参照のこと。
⑧ 検定料 30,000 円	郵便普通為替証書とし、指定受取人欄には記入しないでください。
⑨ 入学検定料の領収証書・控	本研究科所定用紙に出願者の氏名を記入したもの。
⑩ 外国人登録原票記載事項証明書	本邦に在留している外国人で入学を志望する者（在留期間が90日を超えない者を除く。）は、市区町村長が発行したものを提出してください。
⑪ 受験票送付用封筒	本研究科所定の封筒に、出願者の住所、氏名及び郵便番号を記入し、350円切手を貼ったもの。
⑫ あて名シール	本研究科所定用紙に、出願者の住所、氏名及び郵便番号を記入したもの。

注1：本学法学部を卒業した者及び平成17年3月卒業見込みの者は、③及び⑦の書類提出は不要です。

6. 最終合格者発表

平成16年11月19日（金）

片平キャンパス掲示板（北門南側）に掲示する（午前11時の予定）とともに、受験者全員に可否について通知します。

7. 入学時の必要経費

(1) 入学料 282,000 円

(2) 授業料前期分 260,400 円（年額 520,800 円）

〔入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用〕
されます。

8. そ の 他

- (1) 出願書類の用紙を請求する場合は、返信用として自己の住所、氏名及び郵便番号を明記し、かつ、510 円分の切手を貼った封筒（A 4 用紙が入る角 2 型封筒）を同封して、郵便で請求してください。その他、試験について郵便で照会する場合は、所要の切手を貼った返信用封筒を同封してください。
- (2) 出願手続後の書類記載事項の変更は認めません。
- (3) 出願のため提出した書類及び検定料は返却しません。

平成16年7月

郵便番号 980 - 8577

仙台市青葉区片平2丁目1-1

**東北大学大学院法学研究科
専門職大学院係**

電話 (022) 217 - 4945

<http://www.publicpolicy.law.tohoku.ac.jp/>
E-mail: contact@publicpolicy.law.tohoku.ac.jp

平成17年度（2005年度）東北大学公共政策大学院 入学試験日程

出 願 受 付 期 間	平成16年9月6日(月) ～ 9月10日(金)
第 1 次 選 考 試 験	平成16年9月25日(土)
第 1 次 選 考 合 格 者 発 表	平成16年10月15日(金)
第 2 次 選 考 試 験	平成16年10月31日(日)、11月1日(月)
最 終 合 格 者 発 表	平成16年11月19日(金)